

もとじゆくきた  
元宿北遺跡

遺跡番号	平成24年度登録
調査回数	第1次
所在地	山形県川西町西大塚字元宿北
北緯・東経	38度2分45秒・140度4分4秒
調査委託者	国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所
起回事業	一般国道113号梨郷道路整備事業
調査面積	3,000㎡
受託期間	平成25年4月1日～平成25年3月31日
現地調査	平成25年5月20日～9月20日
調査担当者	菅原哲文（現場責任者）・高柳俊輔
調査協力	川西町教育委員会・大塚地区交流センター「治平館」
遺跡種別	集落跡
時代	奈良・平安時代・中世
遺構	竪穴状遺構・井戸跡・溝跡・土坑・柱穴・河川跡
遺物	土師器・須恵器・陶磁器・石製品・金属製品（文化財認定箱数：21箱）



### 調査の概要

元宿北遺跡は、米沢盆地を北流する松川と、松川に合流する元宿川との間に形成された谷底平野に立地する。標高は206mで、遺跡および周囲は水田となっている。主な時代は平安時代と中世である。調査区は1区と2区に分け（図1）、5月20日より1区の調査を開始し、8月20日に2区の調査を実施、9月20日に現地調査を終了した。調査面積は3,000㎡である。

### 遺構と遺物

主な遺構であるが、井戸跡が3基、竪穴状遺構が1基、

溝跡、土坑、河川跡が確認された。奈良・平安時代の遺構について述べる。SE4井戸跡は、掘り方の直径が約3.5m、井戸本体は1辺約1.2mの方形である（写真3）。底に近い覆土より須恵器片が出土した。元は井戸枠が据えられていたが廃絶の際に抜き取られたと考えられ、材は残っていなかった。1区中央付近で竪穴状遺構SX3が検出された（写真8）。長辺が2.6m、短辺が2.3mの方形で柱穴は無い。熱を受けた礫や須恵器片が出土した。1区の西側から2区では、旧河川跡と考えられるSD1が確認された（写真4・5）。南北方向に流れ、幅は11～15m、深さ50cm以上、長さは25m以上に及ぶ。東岸の覆土上層から、平安時代の須恵器がまとまって出土した。（写真6・7）。平安時代には、SD1は堆積が進んで埋没し、湿地状の地形であったと考えられる。

中世の遺構は、SE7・SE9が確認された。SK5・17も中世になる可能性がある。SE7井戸跡は、掘り方の長辺1.45m、短辺1.3m、深さ1.85mを測り、方形を呈する（写真9・10）。この井戸跡には、一辺が75cmの四角に組んだ井戸枠が残されていた。覆土中から中世の須恵器系陶器の甕の破片が出土している。井戸の底面からは、井戸眼<sup>まなこ</sup>として据えられたと考えられる曲物が5個体出土した。通常は中央に1個体が据えられ

るが、複数個体が出土した事例は珍しい。井戸枠は上部は腐食していたが、隅柱や横棧、縦板が良好に残っていた。SE 9井戸跡は、掘り方の直径が1.6 mの円形で、深さは約1.1 mである(写真2)。井戸枠は確認されていないが、底面近くの層から板材が出土した。板材のC14年代測定を行ったところ、中世に位置付けられる事が判明した。

調査で出土した遺物は、須恵器や土師器、陶磁器などが中心である。奈良・平安時代の遺物の大部分は河川跡からの出土で、須恵器の坏・高台坏・蓋・壺・甕<sup>えんめん</sup>・円面<sup>けん</sup>硯、土師器の坏・甕が確認された。須恵器坏は底部がヘラ切りが中心で、少量の糸切りの個体があり、9世紀前半を中心とする時期と考えられる。円面硯は3個体確認された(写真11)。中世の遺物は、須恵器系陶器甕、越前焼、中国から輸入された青磁碗などが出土した。時代は14～16世紀頃と考えられる。

### まとめ

元宿北遺跡は、平安時代9世紀前半頃を中心とする集落跡と考えられる。井戸跡や竪穴状遺構、土坑などが確認され、建物跡も存在した可能性があるが、後世の削平で消失したと思われる。河川跡に廃棄された土器は、煮炊用の土師器甕などは少量で、須恵器坏類・甕類が目立ち、官衙や官衙に関連する遺跡などに出土が多い円面硯が出土するなど、通常の集落とは異なる様相がある。南に隣接して治兵衛館遺跡があり平安時代の集落が報告されている。周辺遺跡に未確認の役所に関連する施設が存在していた可能性もある。

中世では、大塚城の山城である治兵衛館跡と同じ時期と考えられる遺物も存在し、今後城跡との関係を検討する必要がある。



写真3 SE4井戸跡完掘状況(西から)



写真1 遺跡全景(北東から)



写真2 SE9井戸跡の調査状況(北から)

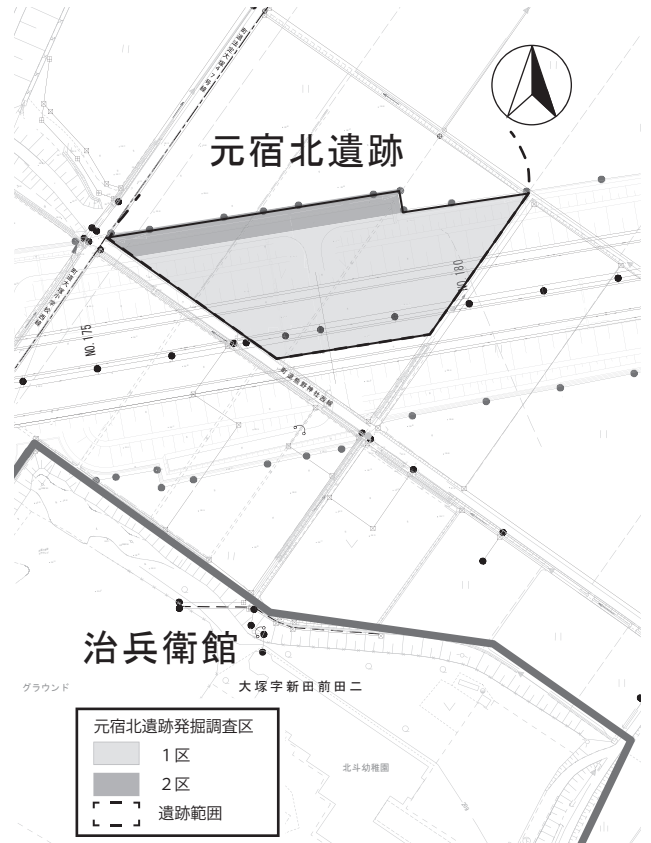


図1 調査区概要図(S=1:2000)

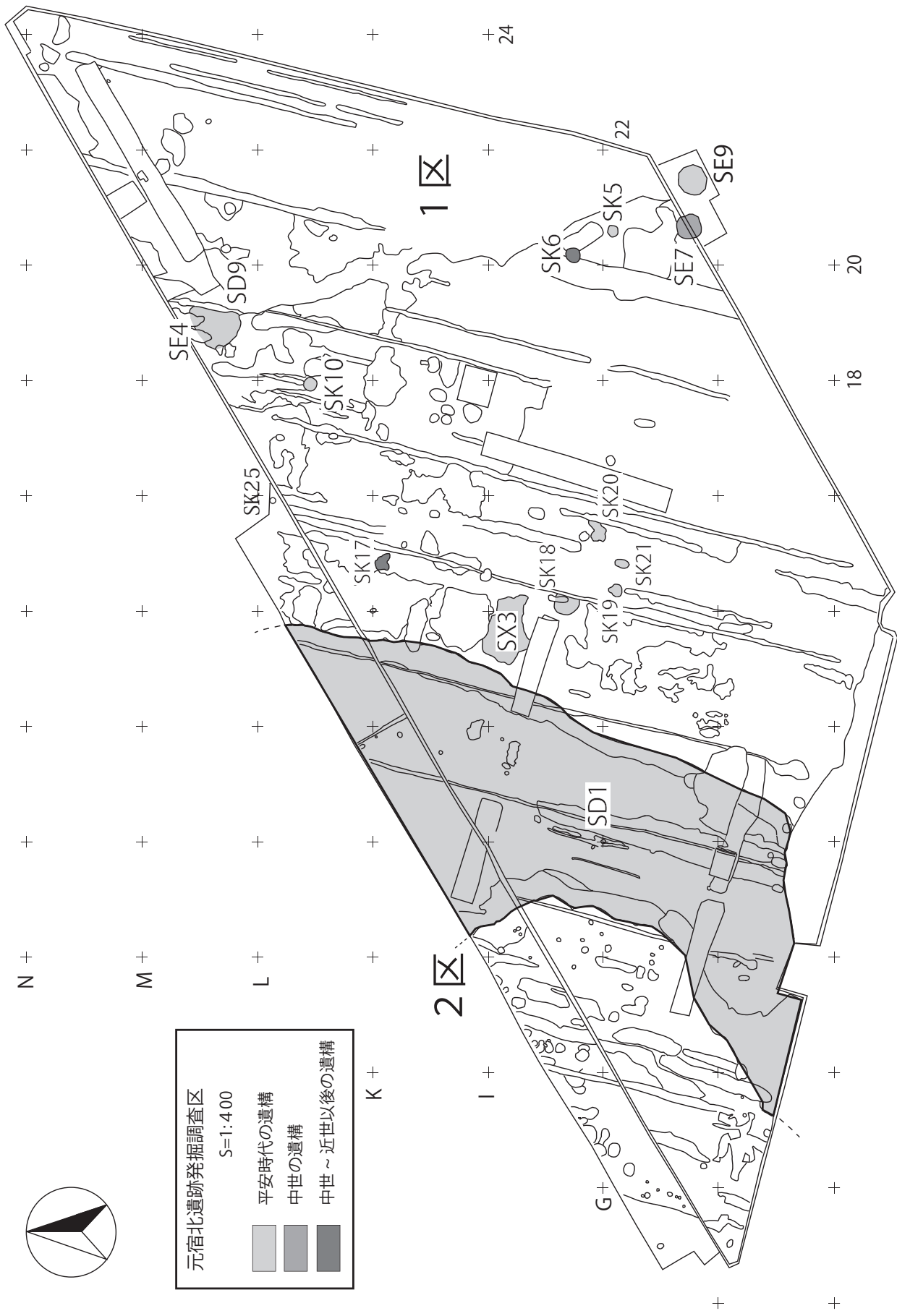


図2 遺構配置図





写真4 SD1 河川跡全景（北東から）



写真5 SD1 河川跡の断面（北東から）



写真6 SD1 須恵器蓋出土状況（北東から）



写真7 SD1 須恵器短頸壺出土状況（南東から）



写真8 SX3 竪穴状遺構（西から）



写真9 SE7 井戸跡完掘状況（西から）



写真10 SE7 内曲物出土状況（南から）



写真11 円面硯